

 enokojima creates osaka enoco 大阪府立 江之子島文化芸術創造センター	enocoについて ABOUT ▼	フロアガイド FLOOR GUIDE ▼	enocoのつかいかた HOW TO USE ▼	空き状況 AVAILABILITY ▼	アクセス ACCESS ▼	プラットフォーム 
	クリエイティブルーム 入居者募集 CREATIVE ROOM ▼	サポーター募集 SUPPORTER ▼	メールニュース登録 MAIL NEWS ▼	Q & A Q&A ▼	お問い合わせ INQUIRY ▼	

展示 9.17-9.22

第1回大阪インターカレッジ・パブリックスタイル・ワークショップ 水都大阪再生：水辺からのリ・デザイン

建築都市系5大学が描く「水都大阪」のオルタナティブ・ビジョン

[トップ](#) >> [イベント](#) >> [水都大阪再生：水辺からのリ・デザイン](#)

開催概要

このページの情報は、終了した事業に関するものです。

■参加大学

大阪市立大学、大阪工業大学、大阪大学、関西大学、立命館大学

■展覧会

日時：2013年9月17日（火）～22日（日）11:00～19:00（最終日は16:00まで）

■公開プレゼンテーション&シンポジウム

日時：2013年9月21日 [土] 10:30～17:30

ゲスト：坂本幸三（福島区長）、高野賢（西区長）

特別ゲスト：曾我部昌史（建築家、神奈川大学教授、みかんぐみ）

■会場：4Fルーム1 入場無料

「水都大阪」をイメージ戦略の中心にすえる大阪が、アジアいや世界屈指の刺激と潤いのある都市へと飛躍を遂げるには、まちを縫うように流れる「水の回廊」をはじめとする河川や運河に再び目を向けなくてはいけない。

かつては物流や交流の中心であったにもかかわらず、防災的観点からの整備が優先されるとともに、さまざまな管理区分上の境界が錯綜し、まちの分断要素になっている河川や運河、その周辺の水辺を、さまざまなアクティビティや価値観が会おう創造的な場として捉え直してみたら、まちにどんな新しい可能性が開けるだろうか。

大阪市立大学、大阪工業大学、大阪大学、関西大学、立命館大学の五大学で建築都市デザインを学ぶ学生たちが、大学の枠を超えてまちに飛び出し、新たな視点で水辺の可能性を発見するとともに「水都大阪」に新たな刺激と潤いをもたらす将来ビジョンの提案に取り組んだ。

この展覧会+シンポジウムは、その成果発表を一般公開するとともに、大阪のさまざまな政策課題と日々格闘する福島区、西区の両区長を招いて、専門家と学生たちがともに「水都大阪」のビジョンと可能性について議論するものである。



各プログラム詳細

【1】展覧会（入場無料）

日時：2013年9月17日（火）～22日（日）11:00～19:00（最終日は16:00まで）

自由な発想と感性によって導き出された図面と模型、CGなどを駆使して、既存の制度や概念に囚われない、新しい都市再生のビジョンが提示される。従来にはない、建築、土木、ランドスケープのジャンルとスケールを超えた、大学の設計教育の取り組みの成果を、どうかお見逃しなく！

■出展大学・学生（出展者は変更になることがあります。）

○大阪市立大学大学院：五月女絢、鈴木良、窪野琢也、山本琢人、北森誠人、前田憲泰、増見康平、大庭矩文、清かおり、谷本翔平

○大阪市立大学：奥田竜生、西将希、諏訪淑也、亀井健太、法山千穂、西尾広也、坂田壮平、右田恵里華、西村亮介、田村優一、松本翔子

○大阪工業大学：尼子真広、江端佐知、菊山智也、赤藤和也、辻岡美帆、西野祐也、佐野翼

○大阪大学：矢吹和也、安福和弘

○関西大学：家崎静香、高屋幸輔、板倉和輝、岡本祐貴、奥山祐貴、松下和輝、井内佑依、松本千裕、WEE YIH CHIAN

○立命館大学：市川雅也、中谷瑞穂、落合未紗都、谷藤瞳、西川善一、山田聡史、竹中賢太、仲瑛久、酒井理恵、梶山雄大、中川奨、福原由佳

【2】公開プレゼンテーション（参加無料）

日時：2013年9月21日（土）10:30～13:00

展覧会出展学生の中から選ばれた学生による「水都大阪」の将来ビジョンのプレゼンを一般公開。優秀な提案に対する表彰も行う。

■ゲスト審査員：曾我部昌史（建築家、神奈川大学教授、みかんぐみ）

【3】シンポジウム

日時：2013年9月21日（土）

14:00～15:00 スタジオ・レビュー

16:00～17:30 シンポジウム

定員50名（入場無料、当日先着順受付）

各大学のスタジオが描き出した提案は、都市が抱えるリアルな課題に対してどのような意味と可能性を持つのか。福島区、西区の両区長、建築都市デザインの実務と教育の現場で活躍するキーパーソンを特別ゲストに招き、スタジオの成果をレビューしつつ、これからのアーバンデザインに向けた産学官協働プラットフォームの可能性などについて議論する。

■パネリスト

坂本幸三（大阪市福島区区长）、高野賢（大阪市西區区长）、曾我部昌史（建築家、神奈川大学教授、みかんぐみ）、忽那裕樹（ランドスケープアーキテクト、E-DESIGN、立命館大学非常勤講師）

■コメンテーター

高草大次郎（高草大次郎建築設計事務所、立命館大学非常勤講師）、木下光（関西大学環境都市工学部建築学科准教授）、小浦久子（大阪大学工学部総合地球工学科准教授）、横山俊祐（大阪市立大学工学部建築学科教授）

■進行

前田茂樹（大阪工業大学工学部建築学科専任講師）、堀口徹（立命館大学理工学部建築都市デザイン学科准教授）

■主催：大阪インターカレッジ・パブリックスタイル・ワークショップ実行委員会 ■共催：大阪府、大阪府立江之子島文化芸術創造センター、NPO法人パブリックスタイル研究所/RIPS ■協賛：総合資格学院

サイトポリシー	> enocoについて	> クリエイティブルーム	> enocoのプロジェクト		
指定管理者	> フロアガイド	> サポーター募集	> enocoの学校	ツイート	▲
バナー広告募集	> enocoのつかい方	> メールニュース登録	> プラットフォーム形成支援事業		
プレスリリース	> 空き状況	> Q&A	> 大阪府20世紀コレクション		
	> アクセス	> お問い合わせ	> ライブラリー		
		> プラットフォーム形成支援事業	> サポーターものづくりルーム		
			> enocoのブログ		